Empowered by Innovation NEC

Express5800/LoadBalancer
Express5800/LBシリーズ

Windows Server 2003 の利用について

作成日 2003/11/20 初版

はじめに、

　このドキュメントはExpress5800/LoadBalancer、LoadBalancer(Blade)、Express5800/LBシリーズの分散ノードとして 「Microsoft(R) Windows Server(TM)2003」（以下Windows Server 2003）を対象とするために必要な Microsoft Loopback Adapterのインストールおよび仮想IPアドレスの設定方法について記述しています。分散ノード用エージェントモジュールは Windows NT4.0、Windows 2000 Serverと同じモジュールを使用します。インストール方法については各モデルのユーザーズガイド、またはManagement ConsoleよりLoadBalancerのオンラインヘルプ「分散ノード側の事前設定」を参照してください。

対応機種一覧

- Express5800/LoadBalancer(アプライアンスサーバシリーズ)
  - N8500-627
  - N8100-730
  - N8100-801
- LoadBalancer(Blade)ブレードサーバシリーズ
  - N8400-006
- InterSec Express5800/LBシリーズ
  - N8100-801A
  - N8100-901

本ドキュメントは予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

目次

はじめに、 2

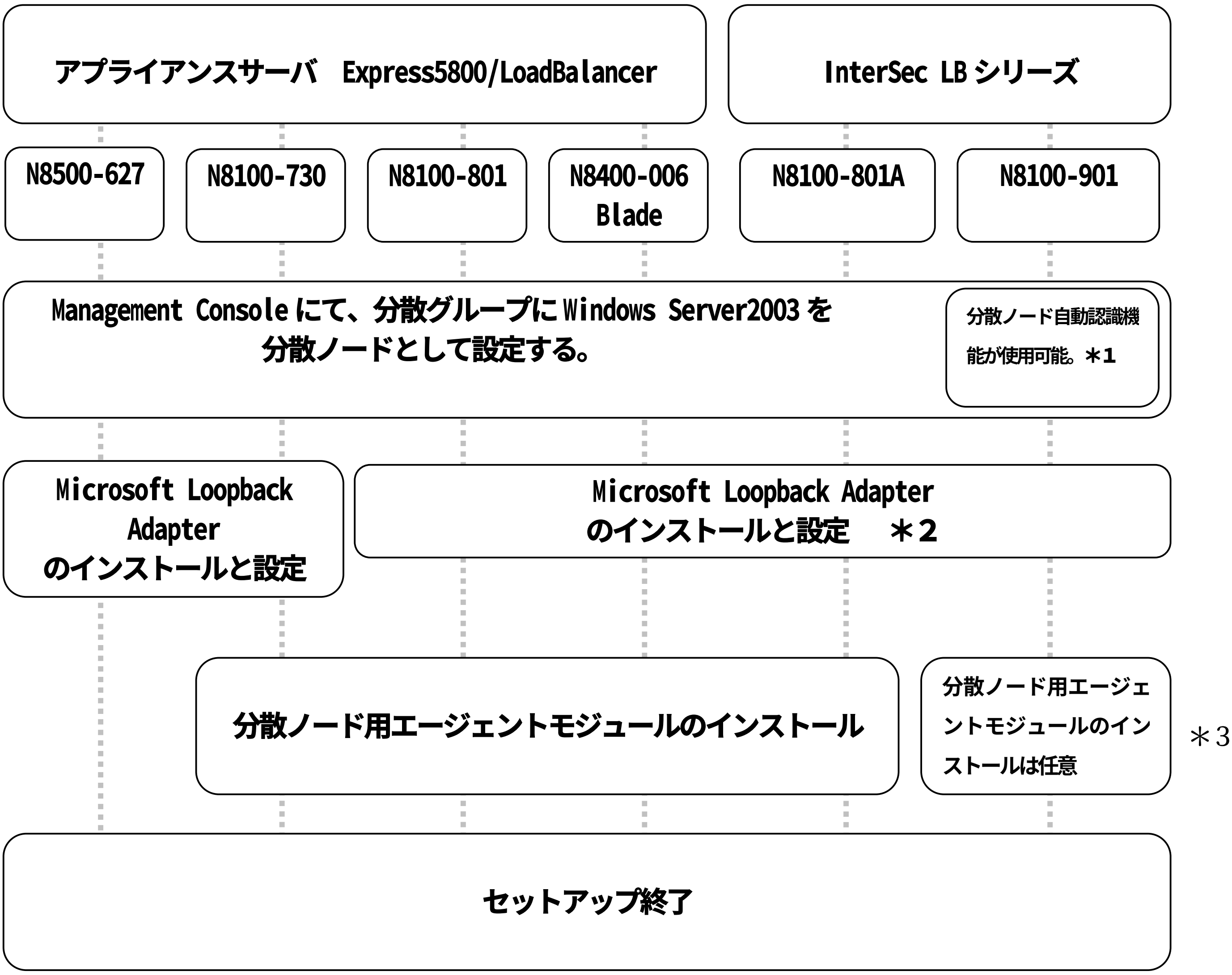
各モデル別セットアップの流れ...4

１．MICROSOFT LOOPBACK ADAPTERインストール手順 5

２．MICROSOFT LOOPBACK ADAPTER設定手順 10

３．備 考 14

各モデル別セットアップの流れ



＊１　分散ノード自動認識機能を使用して Windows Server 2003 を自動設定する場合、Windows Server 2003 に分散ノード用エージェントモジュールのインストールが必須となります。

＊２　レイヤ７分散（Web サーバ固定化）のみの分散を行う場合は、Microsoft Loopback Adapter のインストールは必要ありません。

＊３　分散ノード用エージェントモジュールのインストールについては、各ユーザーズガイド、または Management Console のオンラインヘルプ「分散ノード側の事前設定」を参照してください。

負荷分散サービス宛て(仮想ＩＰアドレス)のリクエストをWindows Server 2003で処理するためには、「Microsoft Loopback Adapter」のインストールが必要となります。

１．Microsoft Loopback Adapter インストール手順

以下の方法で「Microsoft Loopback Adapter」をインストールします。

（1）「スタート」＞「コントロール パネル」＞「ハードウェアの追加」の順に選択して「ハードウェアの追加ウィザード」を起動します。

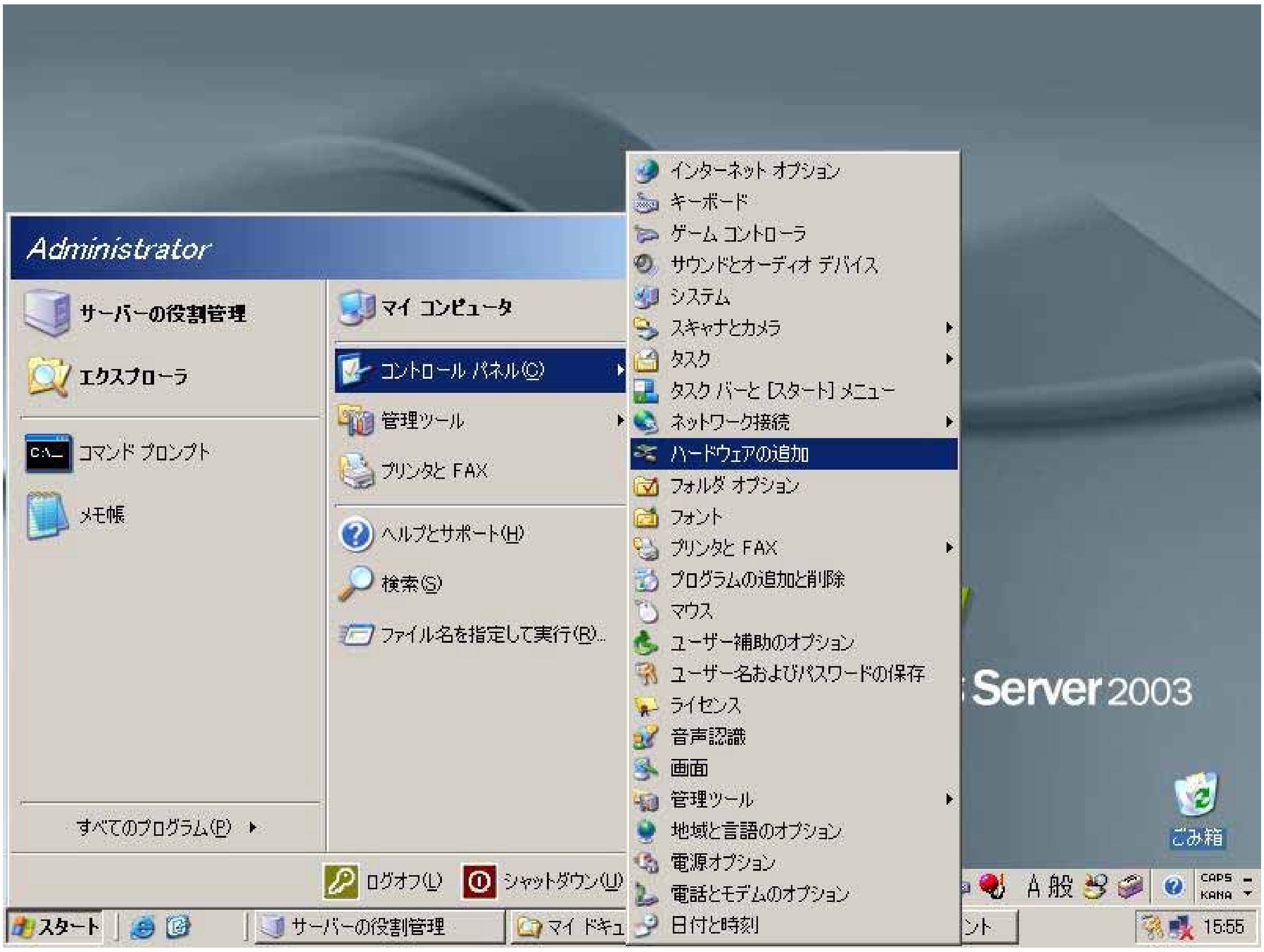


図1.1

（2）「ハードウェアの追加ウィザード」が起動したら、[次へ]をクリックします。

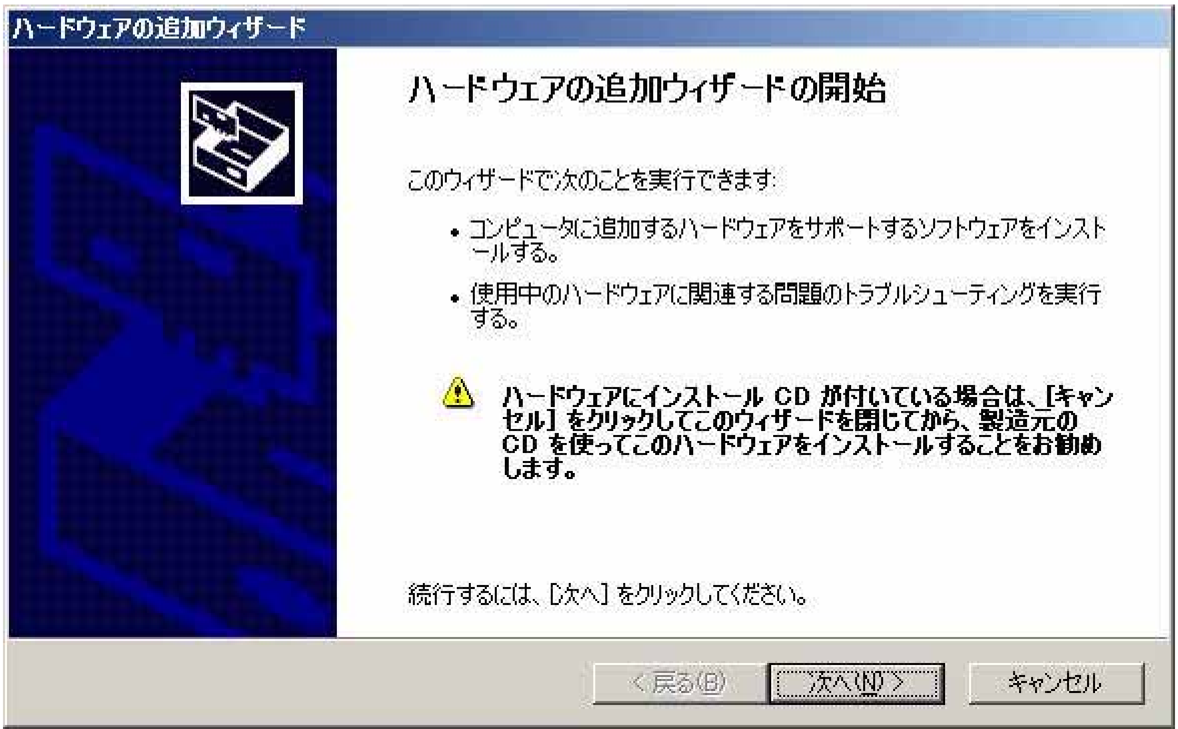


図1.2

（3）「はい、ハードウェアを接続しています」を選択し、「次へ」をクリックします。

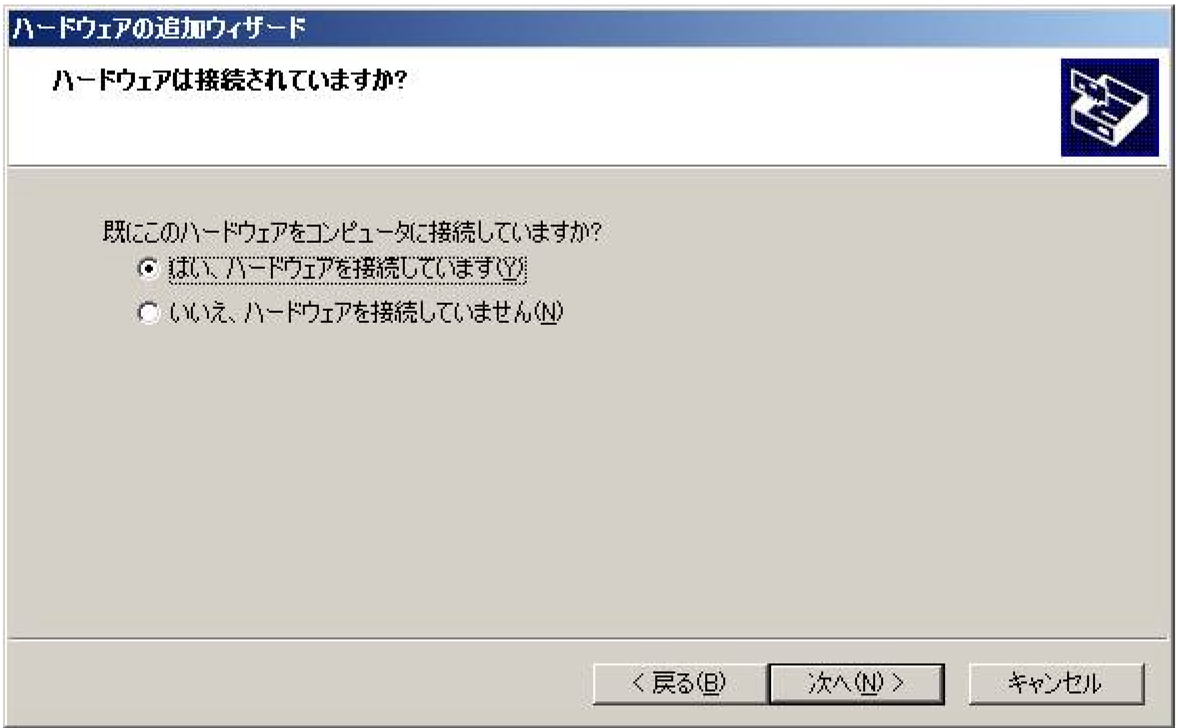


図1.3

（4）「インストールされているハードウェア」から、「新しいデバイスの追加」を選択し、「次へ」をクリックします。



図1.4

（5）「インストール方法」より「一覧から選択したハードウェアをインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。

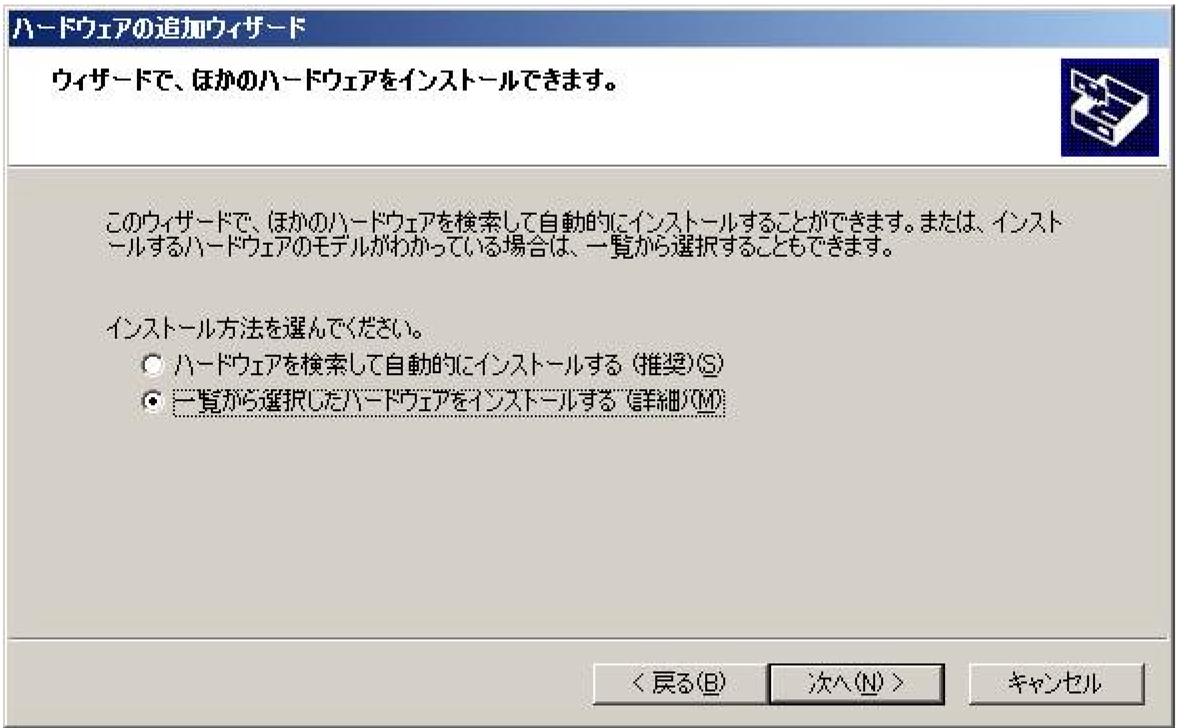


図1.5

（6）「共通ハードウェアの種類」から「ネットワーク アダプタ」を選択し、「次へ」をクリックします。

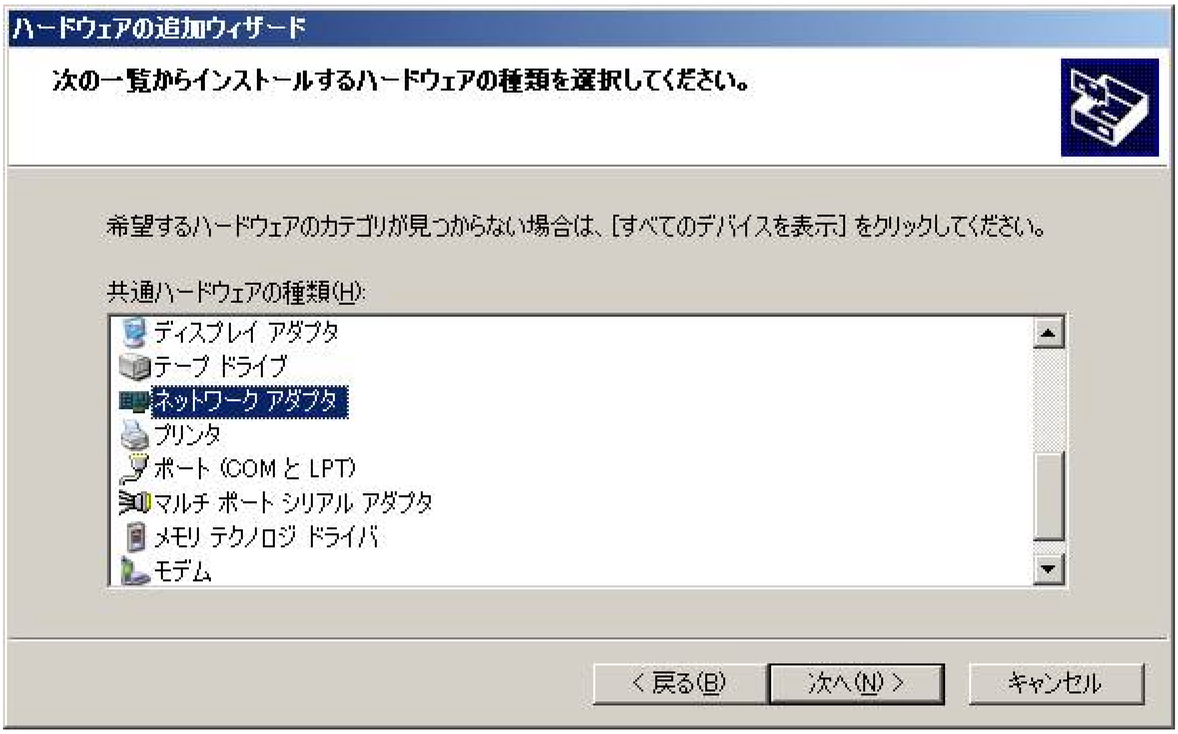


図1.6

（7）製造元から「Microsoft」、「ネットワークアダプタ」から「Microsoft Loopback Adapter」を選択し、[次へ]をクリックします。

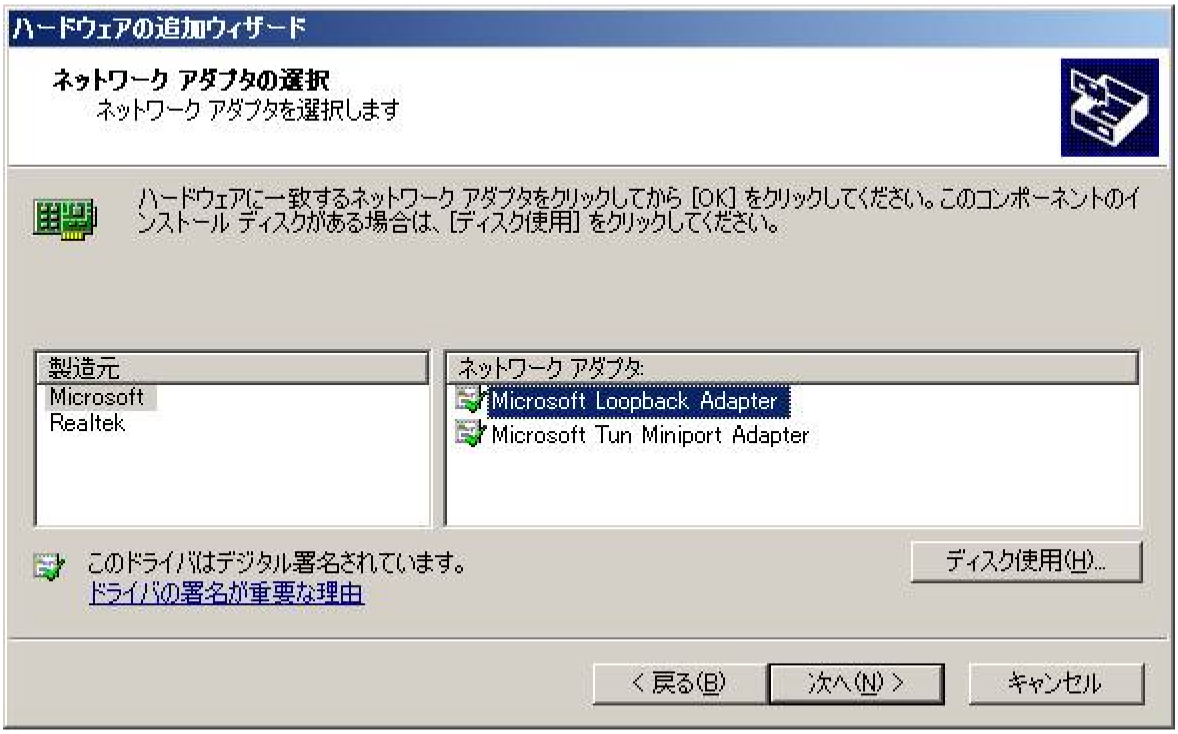


図1.7

（8）もう一度「次へ」をクリックして、「Microsoft Loopback Adapter」をインストールします。

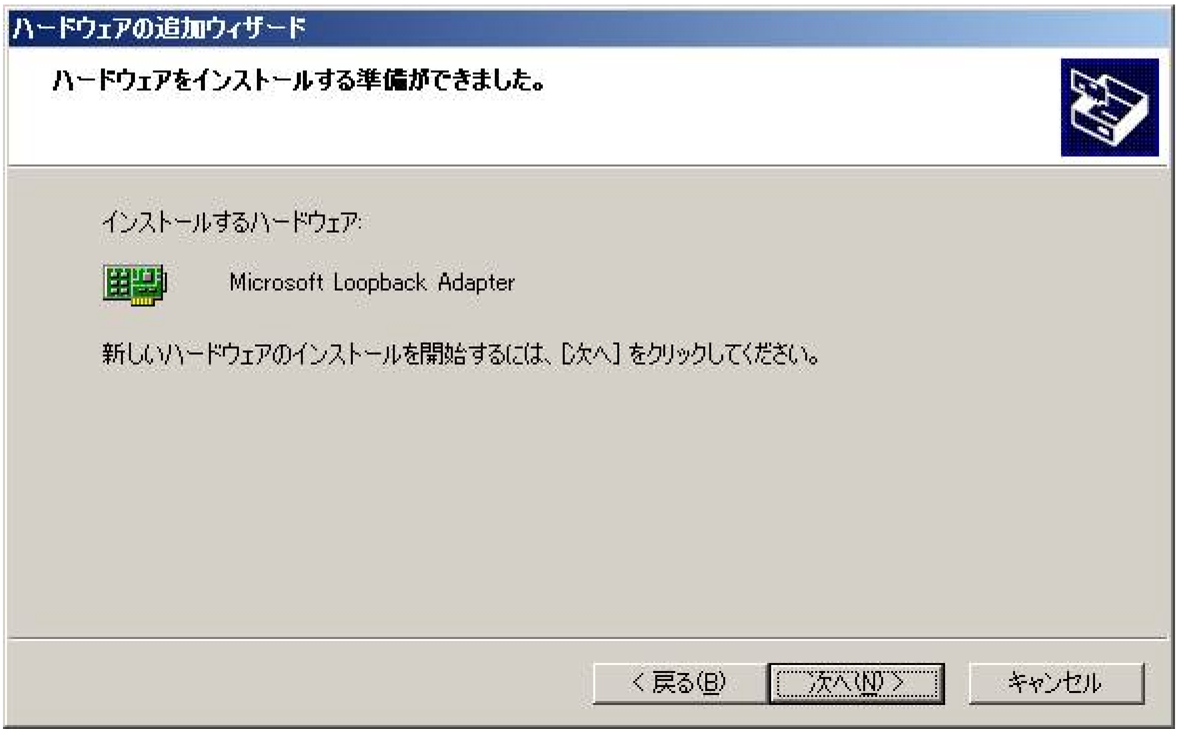


図1.8

（9）インストール終了後、「完了」をクリックすることでMicrosoft Loopback Adapterのインストールは完了します。



図1.9

２．Microsoft Loopback Adapter 設定手順

インストールした「Microsoft Loopback Adapter」に仮想 IP アドレスの情報を登録します。

（1）「スタート」＞「コントロール パネル」＞「ネットワーク接続」の順に選択します。

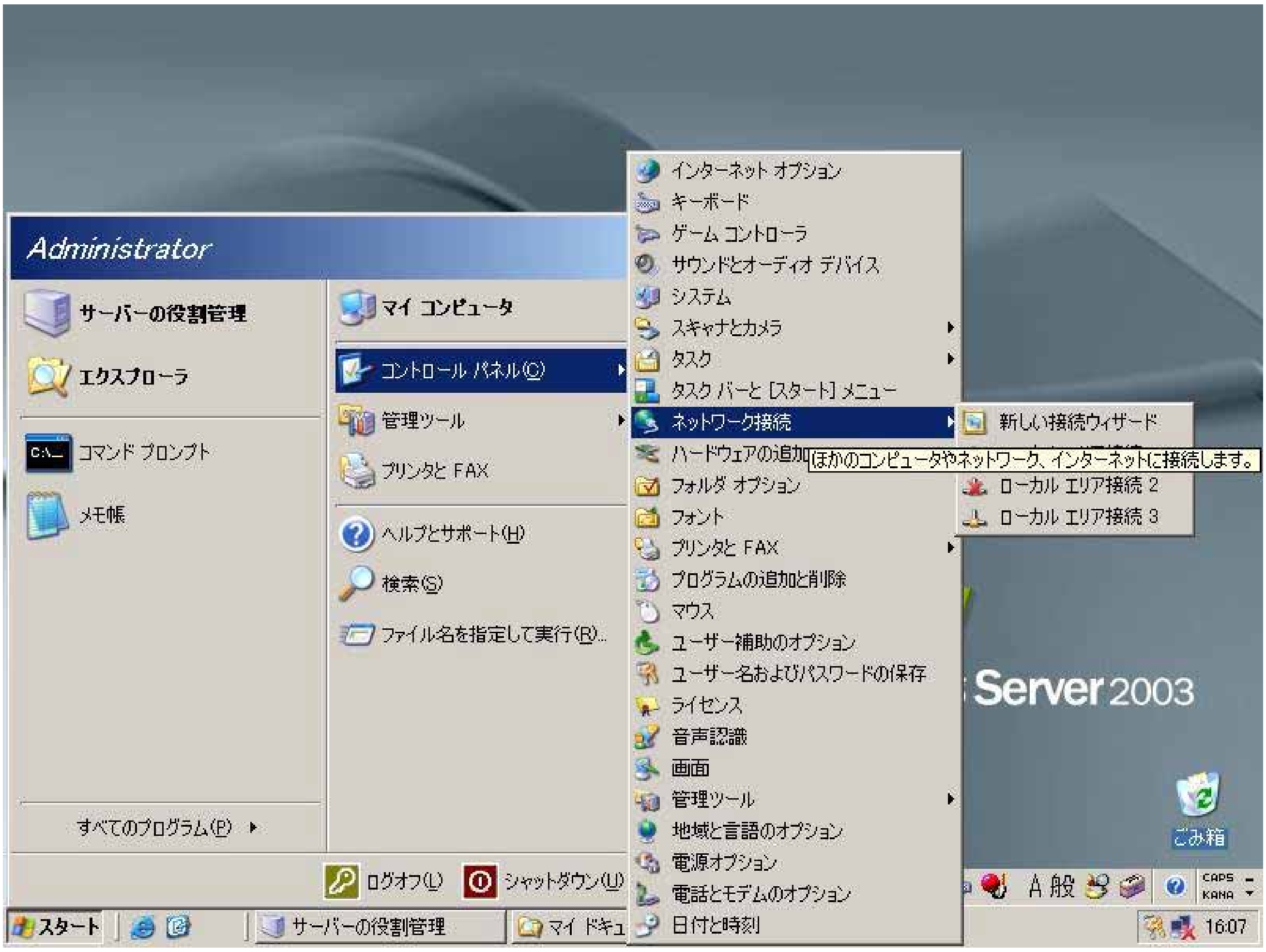


図2.1

（2）「ネットワーク接続」の中から追加したMicrosoft Loopback Adapterの[ローカルエリア接続]をクリックします。



図2.2

※ 図2.2では[ローカルエリア接続3]がMicrosoft Loopback Adapterになります。

（3）選択されたMicrosoft Loopback Adapterパネルの「プロパティ」ボタンをクリックします。



図2.3

（4）パネル内の「インターネット プロトコル（ TCP/IP ）」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

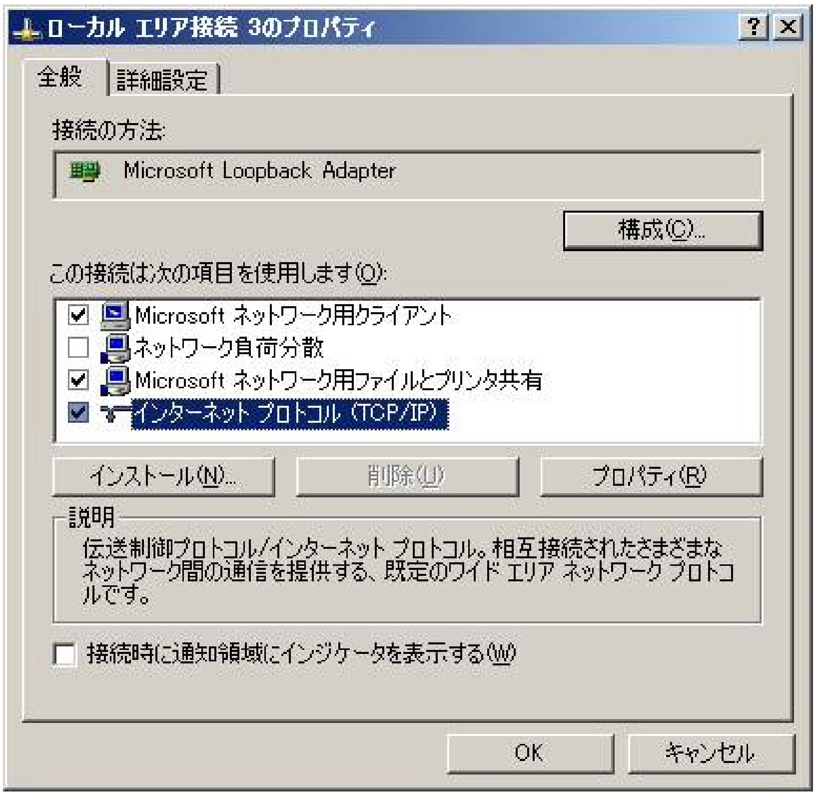


図2.4

（5）[IP アドレス]に Management Console に登録したグループの仮想 IP アドレスを入力します。

[サブネットマスク] はネットワークに合わせて設定します。

注）ＩＰアドレスとサブネットマスクのみ設定し、**デフォルトゲートウェイ**は設定しないで下さい。

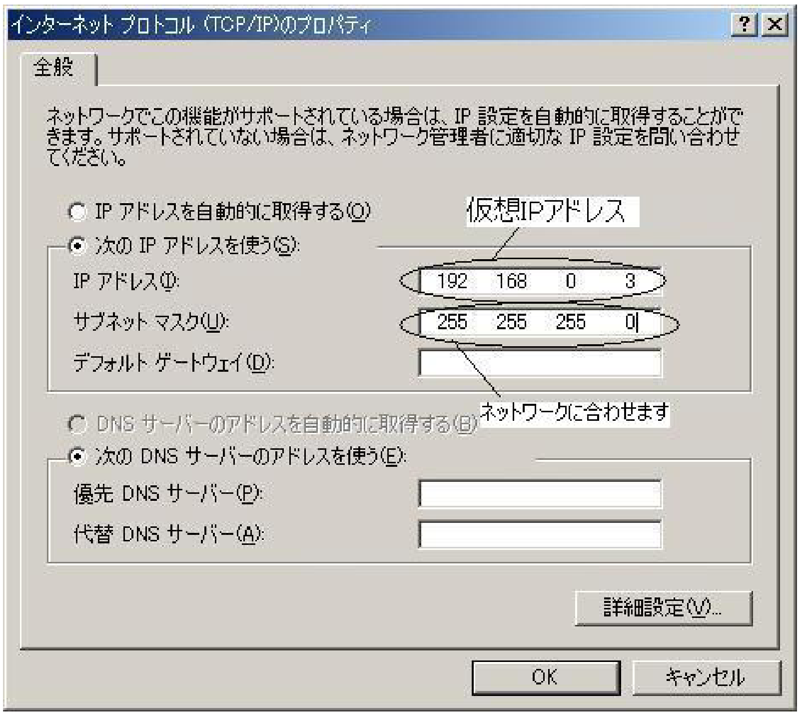


図2.5

（6）次に[詳細設定]ボタンをクリックして、[自動メトリック]のチェックボックスをはずします。
（7）[インターフェイス メトリック]の値を 9999 に変更し、[OK]をクリックします。

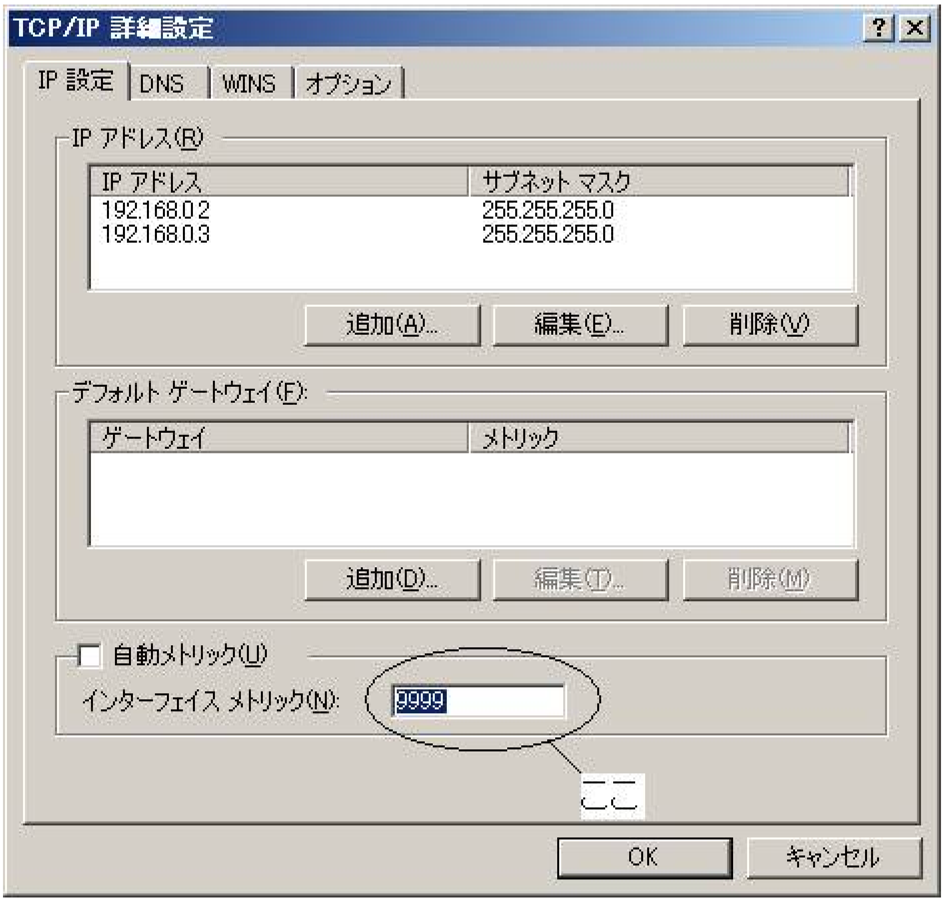


図2.6

注）仮想 IP アドレスを複数登録する場合は、IP アドレス[追加]ボタン(図2.6)を押して、新規に仮想 IP アドレスを追加してください。

（8）以上で Microsoft Loopback Adapter の設定は完了です。

３．備 考

備考 (1) ： Management Console に表示される「分散グループ情報」内の分散ノードサーバタイプは、Windows Server 2003 の場合でも、「win2k」または「Win2k」と表示されます。

備考 (2) ：エージェントモジュールのインストール中に、「LBhost サーバ用 IP アドレス」に仮想 IP アドレスが規定値として表示された場合は、[参照]ボタンを押して (図3.2) 実 IP アドレスに変更して下さい。
「LBhost サーバ用 IP アドレス」が Management Console で登録する分散ノードの実 IP アドレスになります。

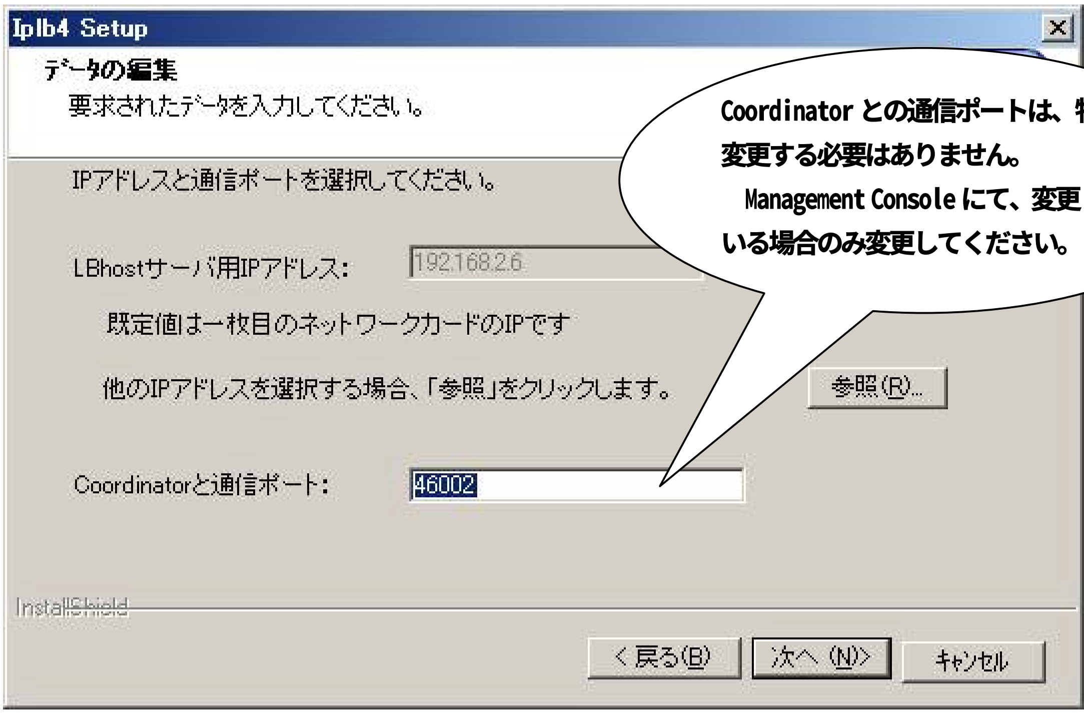


図3.1

※ LBhost サーバ用 IP アドレスには、仮想 IP アドレスを指定しないで下さい。



図3.2

備考（3）：エージェントモジュールのIPアドレスを変更する場合、
エージェントモジュールのアンインストールを行い、再度インストールを行ってください。

備考（4）：イベント ビューアにおいて、アプリケーションログ内にPerflib イベントＩD2003 の警告ログ（図3.3、図3.4）が発生した場合は、次のコマンドの実行で回避できます。

(1) コマンドプロンプトを起動し、下記のコマンド(2)～(7)を入力し、実行します。
(2) ＞ unlodctr w3svc［return キー］
(3) ＞ unlodctr asp［return キー］
(4) ＞ unlodctr inetinfo［return キー］
(5) ＞ lodctr w3ctrs.ini［return キー］
(6) ＞ lodctr axperf.ini［return キー］
(7) ＞ lodctr infoctrs.ini［return キー］
以上で、警告ログは発生しなくなります。



図3.3

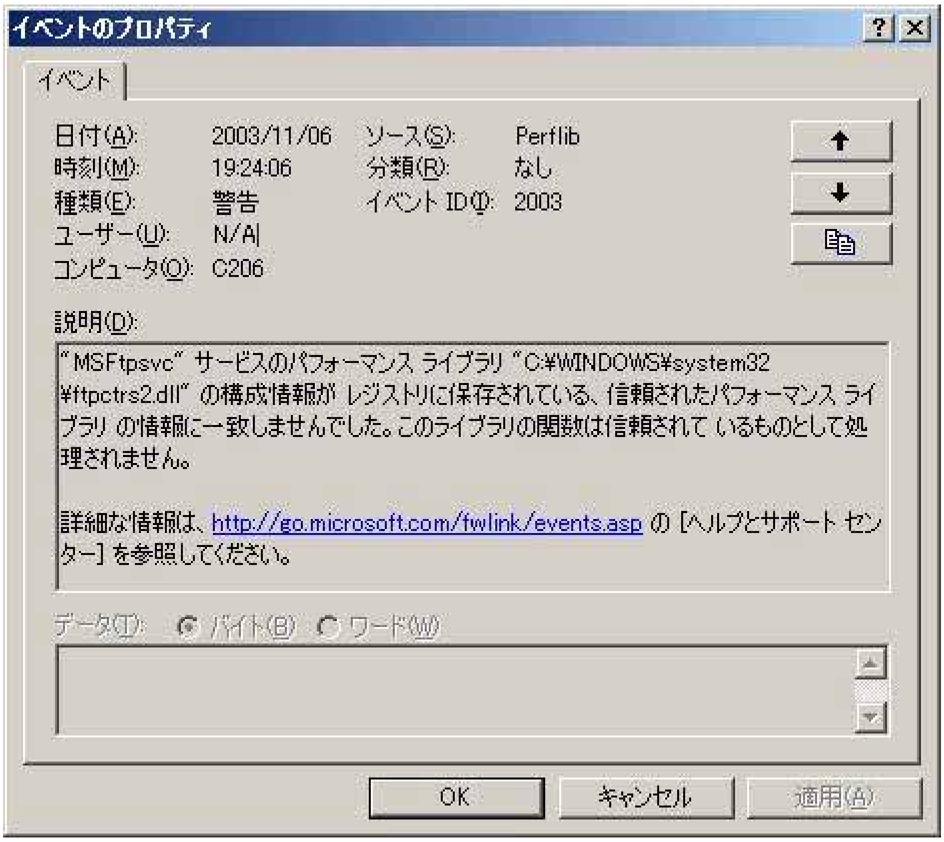

イベントのプロパティ
イベント
日付(A): 2003/11/06
ソース(S): Perflib
時刻(M): 19:24:06
分類(R): なし
種類(E): 警告
イベント ID(I): 2003
ユーザー(U): N/A
コンピュータ(O): C206
説明(D):
"MSFtpsvc" サービスのパフォーマンス ライブラリ "C:¥WINDOWS¥system32¥ftpctrs2.dll" の構成情報が レジストリに保存されている、信頼されたパフォーマンス ライブラリ の情報に一致しませんでした。このライブラリの関数は信頼されて いるものとして処理されません。
詳細な情報は、http://go.microsoft.com/fwlink/events.asp の [ヘルプとサポート センター] を参照してください。
データ(T): バイト(B) ワード(W)
OK
キャンセル
適用(A)

図3.4

以上